

科目名	ものづくり実習 3						年度	2026	
英語科目名	Fabrication Practice 3						学期	前期	
学科・学年	建築学科 2年次	必/選	必修	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	升水 健太	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】 ・ものづくりの授業として住宅に合う人体系家具のデザインを行う									
【科目の概要】 人体系の家具を作ることを目的とするが、設計課題とのつながりを考慮したものづくりを行う。									
【到達目標】 A. ものを計画するときの適切なデザインできている B. 設計課題との関連性がある									
【授業の注意点】 評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により講評会において評価を行う。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	ものを計画するときの適切なデザインできており、機能的である		ものを計画するときの適切なデザインできている			ものを計画するときの適切なデザインができていない			
到達目標 B	設計課題との深い関連性がある		設計課題との関連性がある			設計課題との関連性がない			
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 配布資料による									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成果品等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ものづくり実習3			年度	2026					
英語表記		Fabrication Practice 3			学期	前期					
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価					
1	調査1	ものづくり実習3	1 住宅系家具のデザイン史を知る。	住宅系家具のデザイン史を知ることができる	2						
2	調査2						住宅系家具のデザイン史を知ることにより知見を広くできる	2			
3	調査3				2						
4	調査4							2			
5	デザイン1	デザイン	1 適切な素材、構法を選定し実際にデザインを行う。	スケッチを通しデザインを創作する	2						
6	デザイン2						模型用の図面を描く	2			
7	デザイン3									2	
8	デザイン4										
9	デザイン5				2						
10	制作1	制作	1 部材を切り出す。	正確且つ、適切な大きさに切り出していく	2						
11	制作2						2 仮組	部材を正確、丁寧に組み立てる	2		
12	制作3		3 本組	2							
13	制作4					4 塗装工程					2
14	制作5			2							
15	発表	発表	1 講評を受ける	他者のデザインを知り自分のデザインの幅を広げる	2						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等